

泉大津警察署管内防犯協議会直轄婦人部「SAF」(大阪府)

活動地域と団体の概要

皆さん、こんにちは。大阪府泉大津市からまいりました、泉大津警察署管内防犯協議会直轄婦人部のSAFです。どうぞよろしくお願い致します。

私たちが活動する地域は大阪府の西南部に位置し、大阪湾に面する泉大津市と忠岡町で活動をしています。泉大津市は世帯数は約3万1,000所帯、人口約7万8,000人が暮らし、港湾のまちとしては泉大津港あり、近年、物流の拠点として、多くの企業が進出しています。市内中心部の南海泉大津駅周辺は再開発が進み、店舗、ホテル、36階建ての超高層マンションが建つなど活気にあふれたまちとなっています。また国内産毛布の製造が日本一として有名で、国内の90パーセント以上を製造しております。

続いて忠岡町は、世帯数は約6,800世帯、人口約1万8,000人が暮らし、東西に約5キロ、南北に約1キロという、東西に長く南北に短い地形で、日本一面積の小さい町として有名です。

私たちSAF(サフ)の概要ですが、平成7年6月18日の泉大津市・忠岡町住民大会において、泉大津市及び忠岡町在住の女性や地域・職域の防犯委員会に所属する女性が、「地域の安全・安心のために迅速に対応する」ことを目的に、泉大津警察署管内防犯協議会直轄婦人部として結成された女性防犯ボランティア団体です。

私たちが普段活動するときに使用する団体名は、「SAF(サフ)」という名前を使っています。SAF(サフ)とは、「セーフティー・アクション・フェアレディー」の略称で、安全のために活動する女性という意味です。この写真は、「SAF(サフ)」が結成された時の住民大会の写真です。この大会において、42名全てが名前を呼んでいただき、委嘱状の交付を受けて大会決議文を朗読したときに、泉大津市、忠岡町を安全で安心して暮らせるまちにしていかなければいけない、という思いで身が引き締まりました。



この写真は大会の会場受付で、メンバーと一緒に写した写真です。私たちの活動は、ここから始まりました。

活動の概要

結成当初は駅前や各種大会において、毎月3回以上街頭犯罪被害防止に向け、チラシの配布や被害防止の声掛けなどの啓発活動を行っていました。活動当初、メンバーは防犯活動に不慣れで、声が小さくて活動するにも恥ずかしくてどうしたらいいかなと悩み、気持ちもちょっと小さくなりました。また私たちが行った活動が果たしてどういう効果が期待できるのかと不安を感じることもあり、とにかく一生懸命やらなくちゃと試行錯誤を重ねました。

活動を始めてから5年が経過したころ、大阪の治安は良くなるどころか悪くなる一方でした。私たちは、なぜ犯罪が減らないのか、ひったくりが減らないのか、みんなで考えました。考えられる原因としては、これだけ犯罪が発生しているのを、ほとんどの人が知らないのではないか。多くの人が他人ごとのように思い、「自分は被害に遭わない、大丈夫だ」と思っているという人が多くて、防犯意識が低いということが問題だと考えました。

それならばどうすれば犯罪が減るのかとみんなで考えた結果、地域の方に防犯に興味を持ってもらおう、もっとインパクトのある啓発活動をしようということになりました。そこで独自の振り付けを加えた、オリジナルの「よさこい鳴子踊り」を通じて、ひったくり被害防止の啓発活動を行うことになりました。今までよさこい踊りを踊ったことがなかったので、振り付けを覚えるのに非常に苦労し、またみんな家庭や仕事があり、大変なときでした。

でも、みんなが集まって練習できるのは週1回しかなく、「あとは家で自主練習をして市民大会に出ることにしよう。みんな頑張れ」と言って、精一杯練習しました。初めて披露

なぜ犯罪が減らないのか？

- これだけ犯罪が発生しているのをほとんどの人が知らない！
- 多くの人が他人事のように思い、私は被害にあわないから大丈夫だと思っている！

防犯意識が低い！

どうしたら犯罪が減るのか？

- 地域の方に防犯について興味を持ってもらおう！
- もっとインパクトのある広報啓発活動をしよう！



そこで！



したのは平成12年の市民大会でした。背中に「ひったくり撲滅」と染め抜いた赤を基調にした派手な裾長の法被に鉢巻きという出で立ちで両手に鳴子を持ち、勇壮な祭りばやしの曲に合わせて「よさこい鳴子踊り」を踊りながら、ひったくりの被害防止を訴えました。



その活動は多くの人の目に留まり、新聞にも取り上げられ、地域の住民の皆さんに、「ひったくり」に注意しなければいけない！」という防犯意識が普及していき、活動を見た方が是非私も参加したいと活動希望者が現れたり、地元のお祭りで披露をしてくださいと依頼が来ることもありました。また、新しくボランティア団体が発足するなど、地域のボランティア活動の活性化にもつながっていきました。

私たちは、ひったくり撲滅に向けた更なる取り組みとして、オリジナルのひったくり被害防止CD「無くせ！ひったくり」を作成しました。歌詞は大阪らしい内容でみんなに覚えてもらうようにしました。防犯意識の希薄な若い世代の人も、一度聴いたら耳に残る曲と言ってもらい、広い世代に防犯意識を図ることができました。

この写真は、ひったくり防止カバーを取り付けているところです。大阪では毎月11日を、「ひったくり防止デー」としているのですが、毎日11日に管内の大型スーパーや駅周辺などで、買い物の主婦や通勤途中のOL、通学途中の女子学生などを中心にひったくり防止カバーの取り付けキャンペーンを行っています。最初はひったくり防止カバーの取り付けに時間がかかっていたのですが、今ではすぐに取り付けられるようになりました。カバーの取り付けを敬遠される方もいらっしゃいますが、皆さんに協力していただき取り付けさせてもらっており、夏の暑い日や冬の寒い日も、みんなで頑張っています。



他にもひったくり被害者は女性が大半であることに注目し、市民会館などにおいて法被を着て出向き、ひったくり場面の実演を交えて防犯教室をしています。見ていただいた方からは、「ひったくり防止カバーは必要ですね」とか、「かばんはタスキ掛けにして持ち歩いたほうが被害に遭いにくいですね」と言ってくれます。



ひったくり被害防止活動以外にも、年金支給日に銀行の前で振り込め詐欺被害防止のキャンペーンを行っています。大阪のおばちゃんが振り込め詐欺に遭わないといていたのは昔の話で、今は「医療費を多く払っているのでお金が返ってきますよ」といった還付金詐欺や、「必ず儲かる未公開株があるんですけど」といった投資詐欺などに多くの人がだまされています。私たちは大切な老後の生活資金を守るために、銀行を訪れた高齢者に対して、振り込め詐欺被害防止の掛け声やチラシを配布し、振り込め詐欺撲滅に向けた活動を行っています。



最後になりましたが、私たちは平成7年から活動して、今年で19年目です。地元の方にも赤い法被を着て活動している姿が定着し、声を掛けてくれる方が多くなりました。これからも「ひったくり撲滅」、「振り込め詐欺被害防止」に向けて、地域一体となった活動を行います。みんな笑顔で暮らせる、安心なまちを目指し、頑張っていきたいと思っております。

最後に私たちが市民会館などで演技している、「無くせ！ひったくり よさこい鳴子踊り」を披露させていただきます。皆さん、どうぞご覧ください。

